

Challenge !!

業務改善

第19号(平成30年3月29日)
業務改善プロジェクト・チーム
(学校経営支援課)
電話:082(513)4972



今年度、学校が取り組んだ業務改善事例をご紹介します!! 参考にしてみてください。
貴校で既に実施しているものはありますか? チェックしてみましょう。



【県立学校での取組】

【会議・行事等の見直し, 精選】

- 校内会議(校務運営会議, 各分掌会等)の精選(頻度, 時間等)
- 校内研修の精選, 集約化
- 遠足, 宿泊研修等の生徒参加行事の精選
- 全体進路説明会を廃止し, 生徒個別に対応
- 中学校や塾を対象とした学校説明会の削減
- 体育祭や合唱祭の平日開催
- 部活動の精選・廃部

【事務処理の効率化, 様式等の見直し・共有化】

- 起案様式の簡素化・共有化, 決裁ルートの見直し
- 教材の共有化
- 学年会や部会における報告様式の簡素化・共有化
- 保護者への案内文フォーマットの共有化
- マークシートリーダーの導入
- 校内ルール等をまとめ, 文書で教職員へ提示

【その他】

- 修学旅行における生徒手荷物の自宅郵送
- 生徒企画・立案によるオリエンテーションの実施



【市町立学校での取組】

【会議・行事等の見直し, 精選】

- 校内会議(主任会議, 生徒指導会議等)の精選(頻度, 時間等)
- 朝会・暮会の廃止・頻度見直し
- 集団合宿等の生徒参加行事の精選
- 参観日実施回数の見直し
- 体育祭の種目, 練習回数の見直し, 発表会の曲数の精選

【事務処理の効率化, 様式等の見直し・共有化】

- 起案文書の簡素化, 決裁ルートの見直し, 作成前の事前相談
- 学年会計・諸費会計の見直し(口座引き落とし対応, 様式統一)
- 週案, 指導案, ワークシートの簡素化・共有化
- 学校日誌, 職朝プリントの簡素化・共有化
- 指導要録や出席簿の電子化

【その他】

- 初任者示範授業等の略案廃止
- 長期休業中の部活動実施時間を設定(9時~15時の間)
- 学校だよりに教員の勤務時間を明記(時間外電話の縮減)
- 会議・研修を入れない日の設定
- 事務処理・成績処理に専念できるまとまった時間の確保



【業務改善の進め方】

- 学校評価項目に, 業務改善や教職員の働き方に関する項目を位置付け
- 業務改善提案に係るアンケート, 熟議の実施

- 業務改善に係る担当者の指定, 推進チームの設置
- 1年間の取組を整理して, 成果とともに教職員へフィードバック



業務改善アドバイザーの妹尾氏と教育次長が対談しました。

平成二十九年十二月二十六日(火)に東広島芸術文化ホールで開催した「学校業務改善フォーラム」において御講演いただいた妹尾昌俊氏と佐藤教育次長が同日会談いたしましたので、その概要を御紹介いたします。

育児と教育には日々修行中の身です。

佐藤 全国で御講演をされているようですが、4人のお子さんがいらつしやるということで、ご自身の中でも、働き方改革を意識されていらつしやるのでしょうか。

妹尾 妻からは、あなたの働き方はどうなっているのとはよく言われます(笑)。フリーで活動していますので、学校の部活動休養日のように、平日に1日、仕事は入れない日を入れて、子供の世話をしています。

佐藤 お住まいは神奈川県ということですが、地元でも活動されているのですか。

妹尾 横浜市教育局のアドバイザーをしています。市教委は積極的に業務改善の働きかけをしています。500校くらいあるので、道半ばです。サポータースタッフはまだ少なく、広島県の方が進んでいます。

新教育長に就任予定の平川氏とはディスカッションすることもよくあります。平川校長の学校では、留守番電話の設定を早々にやりましたし、行事の見直しも色々されており、民間のコンサルティング会社と提携し、教員研修を実施したり、コミュニティスクールの中で業務改善の議論をしたりもされています。

「業務改善」は立場の違ういろいろな人の共通認識を促すことが大切

佐藤 広島県教育委員会では、複数の課により構成される、業務改善PTを設置し、業務改善の取組を進めています。

妹尾 業務改善というのは、幅広い分野に関係しています。教育指導の部署も関係するし、健康管理や教職員、体育の部署なども関係します。それぞれは、それぞれの分野の景色しか見えないところがありますので、色々な人の共通認識を促すことが大事だと思います。

PTでの会議も大事ですし、語り合うことが大事だと思います。業務改善の部署だけでやっていては重荷になるし、うまくいかないと思います。これは学校現場でも同じです。

「業務改善」を進めるには、校長先生が前向きになって話合うことが必要

佐藤 働き方改革を進めるにあたって、国や自治体、学校の役割について、どうお考えですか。



妹尾 定数やアシスタントスタッフの配置など、国とか県に頑張っていたきたいことは山ほどあります。

学校においては、権限と裁量を持つてい校長先生が前向きになって話し合っしつかりやれば、ずいぶん出来ることも多いのではないかと考えています。

例えば、公開研究授業について、研究自体は意義があるし、良いことだと思っでも、徹夜して準備して長時間労働になりました。というのは、ちよつと違っではないかと思っます。もう少し普段を見て議論をするとか、やり方を考えるといっことも必要ではないかと思っのです。

佐藤 これだけの時間という枠の中で、これだけのことができるか考えることも重要ということですね。

妹尾 そうですね。ちよつと丁寧過ぎるか、良いことをやっているがすぐ時間をかけ過ぎていることがあるのではないかと思っます。余裕があれば、どんなやれば良いと思っますが、授業準備などの余裕がないという状態であることを踏まえないといけません。

教員の負担軽減には、地域の協力(連携)が必要不可欠

佐藤 「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議」の委員となられていますが、どのような議論がなされているのでしょうか。

妹尾 活動の教育的な効果など部活動の意義が示される一方、そうした面を強調するあまり、教員の負担とか時間とかが、あまりにも低く見積もられているのではないかといった議論がなされておっります。今年度のガイドライン作成が予定されているところですね。

佐藤 部活動については、地域への移行という議論もあっりますね。

妹尾 学校での活動がメインとなっっているのは、日本の独特の文化ですね。小学校はスポーツ少年団での活動が盛んで、ある意味、地域移行が成功しているのではないかと思っます。中学校や高校でもこうした検討が必要かも知れません。

佐藤 中教審の中間まとめの中では、地域へ任せられる業務は任せるといっ記述もありました。地域との連携も重要な視点ということですね。

妹尾 学校の先生は授業で勝負させてくださいといっことをもつと言っていかないといっけなくて、先生方の長時間労働しているという状態を解決しないといっ授業ができませんといっことを関係者の方々へお話ししていくことも重要だと思っます。コミュニティスクールの活用や、地域の代表者との連携といっったことが必要です。

先日、ある学校で地域のおじいちゃん、おばあちゃんが給食で子供と一緒に食べるおじいちゃん、おばあちゃんもすこ楽しそうにしていて、これで担任の負担が劇的に減るというのではないのですが、休憩時間の相手や掃除の見守りなど、地域の方々の協力を得られる場面は他にもあると思っますし、外部の方々の目線での活動が子供の成長にも繋がる部分があると思っます。

ただ、地域性もあっりますし、どの学校でも取り入れられるとは限りませんが、学校現場での取組が、今後持続可能なのかという視点が重要だと思っます。

佐藤 学校で実施している取組について、継続的に見直しを進めていくことが必要ですね。

業務改善アドバイザー
妹尾 昌俊氏

- 徳島県出身、神奈川県在住
- 中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員、スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議」委員
- 著書に「変わる学校、変わらない学校」、「思いのない学校、思いだけの学校、思いを実現する学校」など

業務改善に係る著書など多数